

第28回 全国街路事業 コンクール応募資料

平成27年10月

応募者名：富山県

事業の名称：都市計画道路能町庄川線街路事業

実施都市名：富山県高岡市

事業目的

本路線は国道415号との交差点を起点とし、都市計画道路下伏間江福田線と接続する延長約7.4 kmの都市計画道路です。本路線は、高岡市市街部の骨格をなす幹線街路であるほか、国道8号とともに高岡市の環状線としての役割を担う道路である。

平成16年度にはJR北陸本線（現あいの風とやま鉄道）との立体交差部が完成し、南北の連絡がスムーズになったが、北陸新幹線の開業に向けた新高岡駅へのアクセス向上が重要な課題となっていた。

事業概要

事業名称：都市計画道路能町庄川線

路線名：能町庄川線

事業箇所：高岡市蓮花寺町～問屋町

事業延長：1,300m

幅員：25m

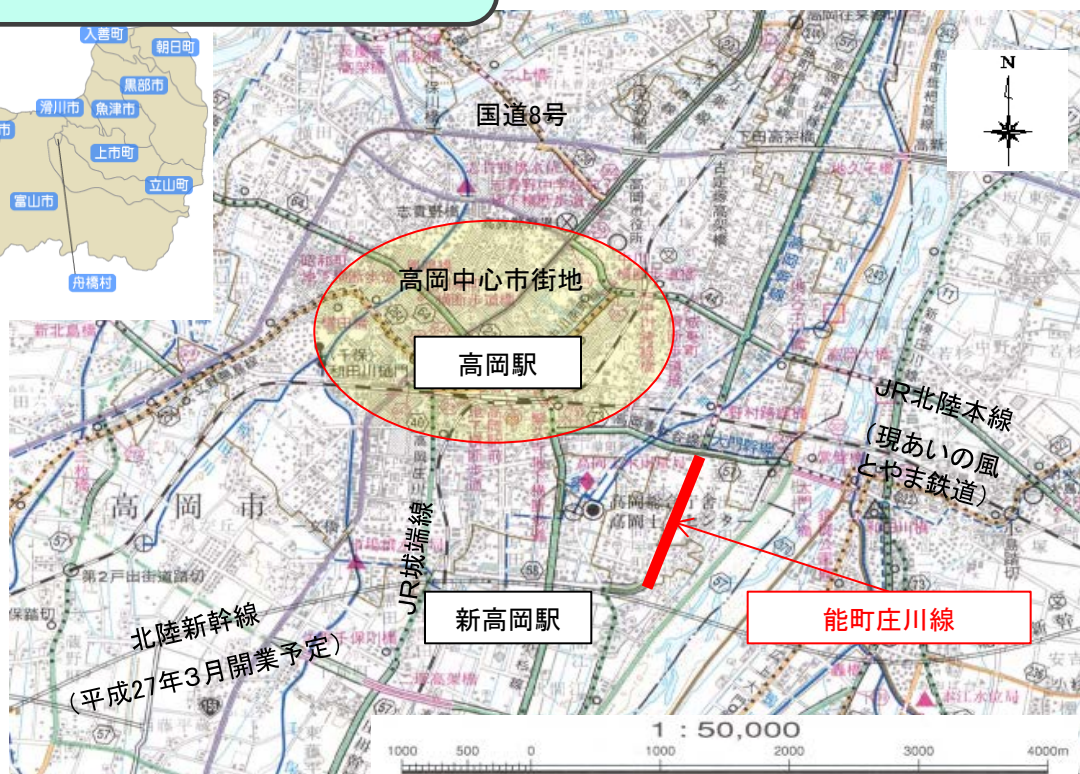
事業費：25億円

事業実施期間：平成17年度～平成26年度

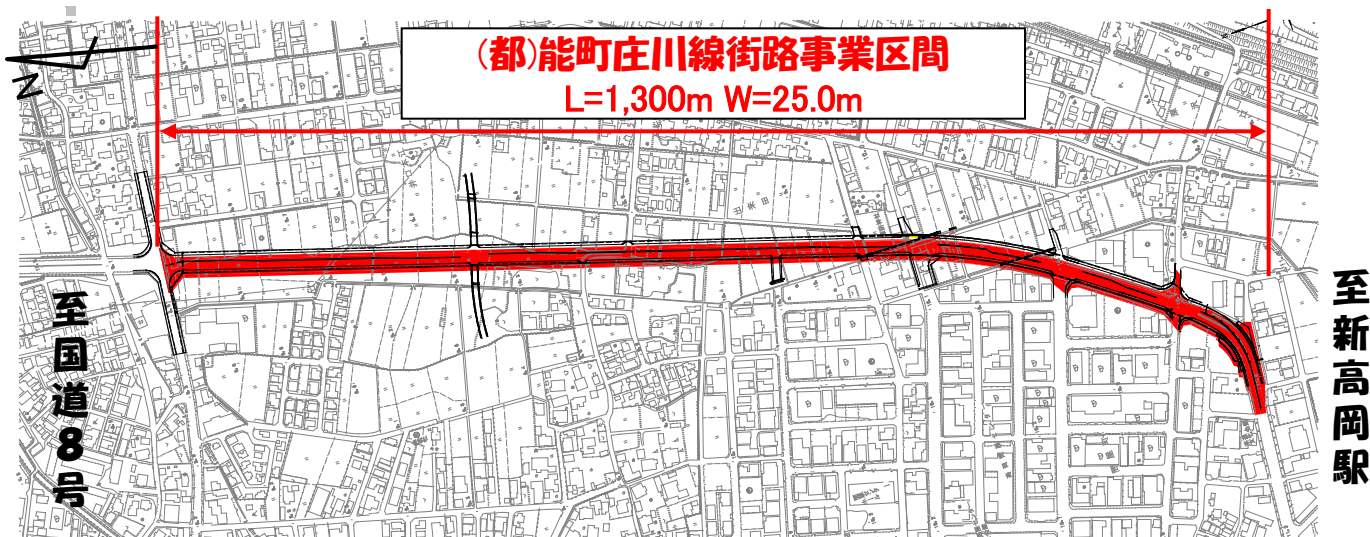
本事業は、延長1,300m区間について整備するものである。道路の新設事業であり、歩道幅員3.5m、車線幅員は片側2車線3.25mの総幅員25.0mとした。

道路規格は第4種1級、設計速度は60km/hとした。

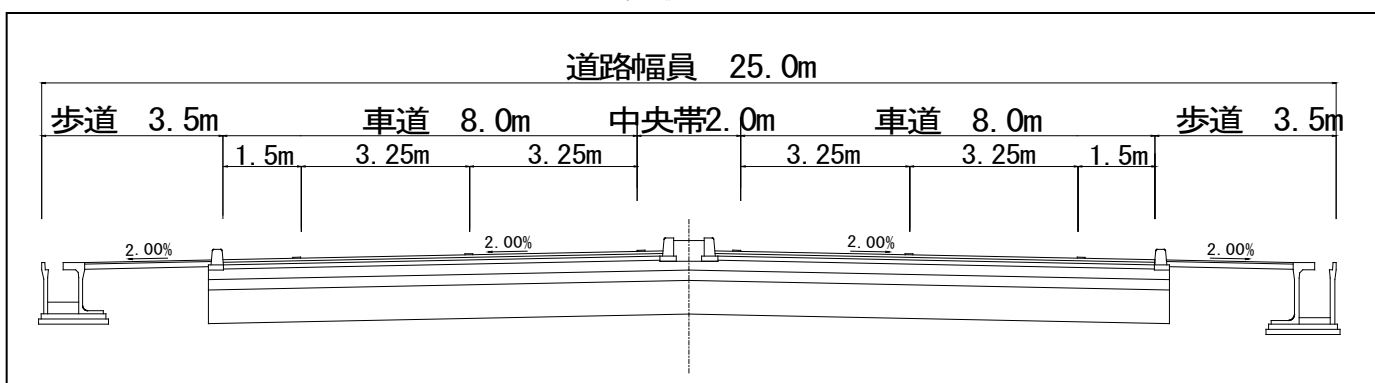
事業位置図



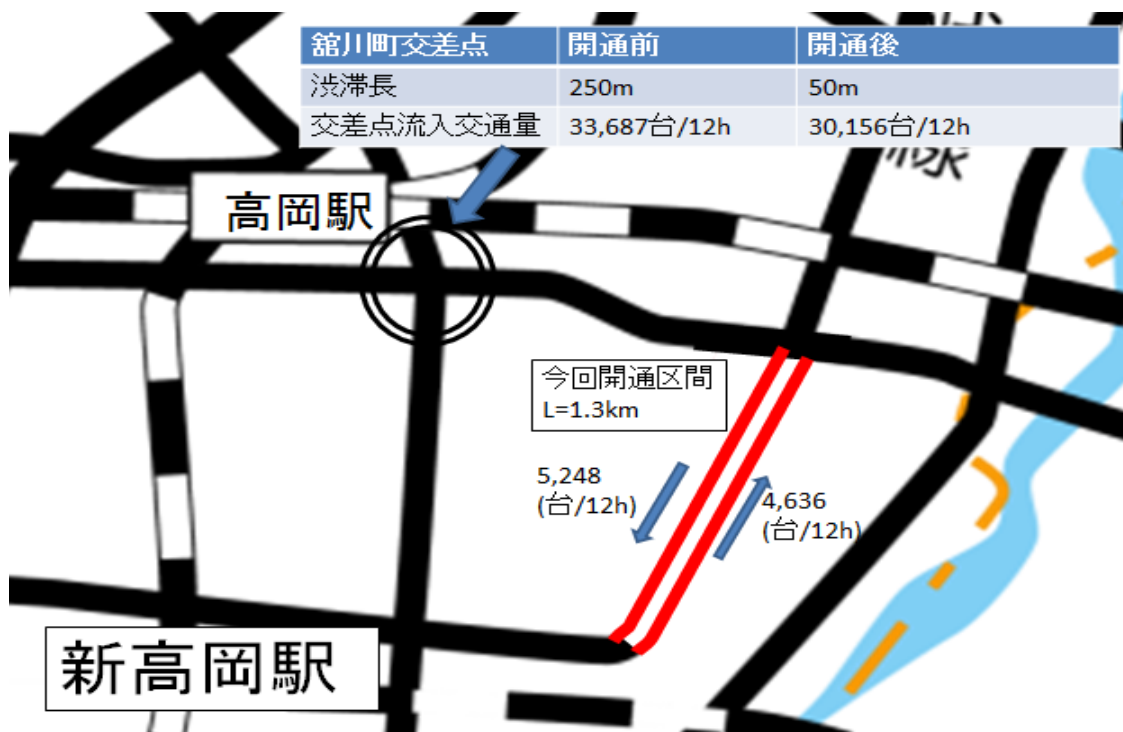
全体図(平面図・側面図・横断面図)



標準横断面図



能町庄川線の整備効果アピール資料



○事業概要

事業名: 都市計画道路能町庄川線
 路線名: 能町庄川線
 事業箇所: 高岡市蓮花寺～問屋町
 事業延長: 1,300m
 幅員: 25m
 総事業費: 25億円
 事業期間: 平成17年度～平成26年度

○交通量調査結果

(能町庄川線交通量)

供用後 実測(片側)

交差点内流入量 4,636～5,248台/12h

(館川町交差点)

供用前 実測

交差点内流入量 33,687台/12h

最大渋滞長 250m

供用後 実測

交差点内流入量 30,156台/12h

最大渋滞長 50m

「整備効果」

都市計画道路能町庄川線の供用直後(H26.11)に当該道路や他の主要交差点で交通量調査を行いました。供用区間の交通量は片側約5,000台/12hとなり、沿線の立地が進むことによりさらに交通量の増加が期待されます。

「その他の事業効果」

かねてから慢性的な渋滞が発生していた高岡市市街地の館川町交差点では、道路開通の前後で交差点へ流入する交通量が33,687台/12hから30,156台/12hと約10%減少しました。最も渋滞が発生しやすい北方向からの渋滞長は最大で250mから50mと緩和され、都市計画道路能町庄川線が外郭道路として市街地部の渋滞緩和機能を果たしています。

事業前写真

平成17年11月撮影



平成17年11月撮影

事業前写真2



平成24年11月撮影

事業前写真3

(館川町交差点渋滞状況)



事業後写真

平成27年9月撮影



平成27年9月撮影

事業後写真2



平成27年9月撮影

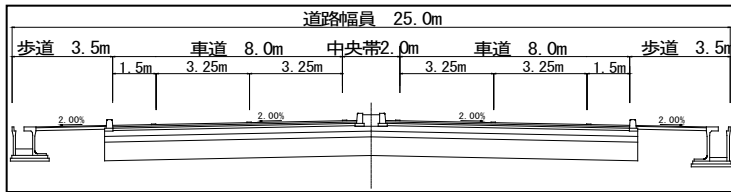
事業後写真3

(館川町交差点渋滞状況)



路線全体の進捗状況

都市計画道路能町庄川線



都市計画道路能町庄川線

総延長L=7,370m

W=12~35.8m

未整備区間

L=620m

整備済区間

L=5,450m

今回応募区間

L=1,300m 平成26年完成

平成26年10月29日供用開始

外郭環状道路

凡例

- 今回応募区間
- 施行済区間(完成区間)
- 未施行区間(調査・計画区間)
- 既設道路